

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 4月 1日

事業所名 ウィルハーモニー

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	2			現在、機能訓練2室、多機能室1室で支援を行っています。
	2	職員の配置数は適切である	5				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5				
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	2			職員全員がPDCAサイクルの意味が理解出来るように勉強会を行い活用出来るようにします。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			5		現在、第三者による外部評価を行っておりません。今後、外部評価への有り方を検討します。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5				毎月勉強会が継続して実施出来るよう調整します。参加率を上げる工夫も合わせて検討します。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4	1			今後も保護者と連携を図り、より良い支援ができるよう努めます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	2			適応行動に特化したアセスメントが行えるように改善をします。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5				
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5				
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	1	4			平日と休日を分けた活動が出来るよう、職員間で話し合い拡充に努めます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5				今後も、相談支援事業所と連携を図り、支援計画を作成します。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	1			パート職員も含めて、その日の支援内容を確認する時間を設けます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5				
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	1			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5				
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	3	2			どのお子様に対しても、ガイドライン総則の基本活動を複数組み合わせが出来よう工夫します。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	5				現在は管理者が参加。今後は担当者も会議に参加できるようにします。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている	5			送迎時に毎回確認 を行っています。	急な変更にも対応できるようコミュニケーションを 取るよう努めます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている	4	1			主治医や協力医との連携を密に図ります。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	5				保護者からの情報を頼りに、就学前の事業所と 連携を行います。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している	1	3	1		必要に応じて、連携事業所との情報共有を行 います。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	1	3	1		コロナが落ち着いたら、専門機関と連携し、助言 や研修を進めます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある			5		コロナ禍の為、交流が厳しい状況です。状況が落 ち着いて来たら地域との交流を再開したいです。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している		2	3		開催時は、積極的に参加させて頂きます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	5				共通理解を持ち続けられるよう、保護者様とはコ ミュニケーションを常に図って参ります。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている		5			職員全員がペアレントトレーニングを理解でき るように勉強会を実施したいと思えます。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	5				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる	5				コロナで利用を控える利用者様に対しても、電話 やLINEなどを活用して相談や助言などを行って います。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している		2	3		コロナ禍の為、厳しい環境です。状況が落ち着き ましたら、保護者会を実施したいです。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	4	1			送迎時などにお話しさせて頂いています。困りご との確認や、要望など少し確認が必要な場合 は、在宅支援の活用もしています。今後もより良 い支援が出来るよう努めます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	5			月に1度情報誌(通 信)を発行していま す。	
	35	個人情報に十分注意している	5				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	5				計画相談支援と連携し、配慮出来るよう努めてい ます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている	1	3	1		コロナ禍で招待など出来てませんが、コロナが落 ち着いたら地域と交流を図りたいです。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5			掲示するだけでなく、職員間で読み合わせを行い周知徹底出来るよう工夫しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5			年2回訓練実施。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		毎年勉強会を開いています。	コロナで研修機会が減っていますが、社内でも勉強会を実施して補っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	2		運営規程や重要事項説明に記載されています。契約時に説明を行っていますが、理解出来ない職員が出てこないよう今後も周知に努めます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5			保護者様、主治医、協力医、相談員など専門職と連携を図り対応しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	1		ヒヤリハットの共有を定期的に行っています。今後も継続します。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 4年 4月 1日

事業所名 ウィルハーモニー 保護者等数(児童数) 10 回収数 10 割合 100%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9	1			
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	9	1			
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	2			
適切な支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	10				
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	10				
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	7	3			コロナが落ち着いたら、地域との交流機会を図ります。
保護者への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	10				
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていますか	10			連絡をこまめにくださり、対応もすぐしてくれるので安心しています。	今後も安心して通ってもらえるように努めます。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10				
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	4	1		保護者会の開催や時期などについて、保護者様に確認します。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10			要望等すぐに対応してもらって助かっています。	今後も要望に応えられるよう職員間で密に連携します。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10			送迎時にその日の出来事を詳しく説明してくれます。	今後も継続してコミュニケーションを取ります。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	10			毎月写真付きの「通信」を家族で楽しみにしています。	今後も楽しんでいただけるように工夫してまいります。
14 個人情報に十分注意しているか	10					
非常時等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	10				各種マニュアルを読み合わせを行うなど、定期的に確認します。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	9	1			災害にも対応出来るよう訓練を定期的実施します。
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	10				
	18 事業所の支援に満足しているか	10				

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。